汚れは落として、異物は取り除いて!!
容器包装プラスチックの分別
さらなる分別にご協力ください

容器包装プラスチックの分別を開始して、1年半が経とうとしています。だいぶ浸透してきてはいますが、容器包装プラスチックの資源化の大敵である**「汚れ」**と**「異物」**が未だに多く見られます。

目印は「プラマーク」

容器包装プラスチックとは、「商品を入れたもの(容器)や、包んだもの(包装)であって、中身の商品を取り出した(使った)後、不要となるプラスチック容器やビニール袋」を言います。

すべてのプラスチックやビニールが容器包装プラスチックではありません。

容器包装プラスチックには、**「プラマーク」**が付いています。このマークがプラスチック容器やビニール袋についているか確かめて、「プラマーク」が付いているものを、容器包装プラスチックに分別してください。

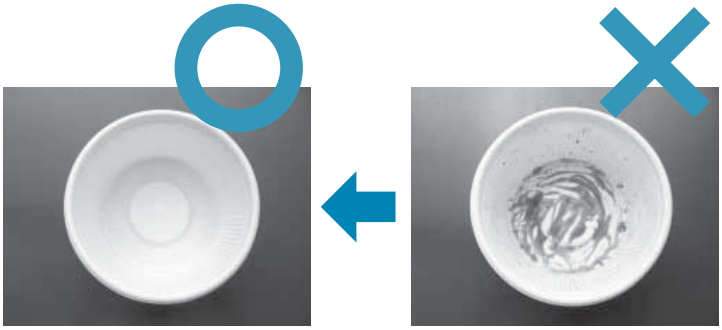
「プラマーク」が目印です

★ポイント★
バケツやポリタンク、プラスチックのお弁当箱やコップ、歯ブラシや文房具など、「そのものが製品として使われるもの」は、容器包装プラスチックではありません。

「汚れ」は必ず落として!

「プラマーク」が付いていても、コンビニの弁当箱、レトルト食品の袋、洗剤やシャンプーの袋など、使い切っても「汚れ」が残ってしまうものもあります。こういったものは、必ず「汚れ」を取り除いてください。汚れが付いていると、他のきれいなものまで汚してしまうことになり、せっかく分別したものが資源化できなくなってしまいます。

★ポイント★
「汚れ」は水やお湯ですすぐか、捨ててしまうティッシュペーパーや布切れなどで拭きとってください。



※汚れがひどく落ちないものは「可燃ごみ」に出してください。

問 環境美化センター ☎(72)4438

今日からはじめよう!
ごみのダイエット通信㉘

今月は、「ごみを捨てる前のひと工夫」がテーマです。

みかんの美味しい季節となりましたが、皆さんは食べた後の「みかんの皮」をどうしていますか。「そのまま」ごみに出してはいませんか?

みかんの皮には水分が多く含まれています。そのまま捨てるとごみの量ばかり多くなってしまいます。

そこで、「ごみを捨てる前のひと工夫」。ちょっと手間を掛けて、みかんの皮を乾かしてみましょう。

やり方は簡単です。ごみ箱に入れる前に、新聞紙を広げて置いておくだけ。3日もすると、なんと3分の1の重さに減量することができます。

▲乾燥前140gだったものが…

▲50gになってしまった!

この他にも、生ごみとして捨ててしまう野菜くずや果物の皮などを一緒に乾かせば、さらにごみを減量することができます。

「ごみを捨てる前のひと工夫」。ごみが減れば、ごみ袋も減らせて、ごみ袋代も減らせます。

ごみの減量に挑戦してみてはいかがでしょうか。

ごみのダイエット策を教えてください

皆さんが日ごろ、ご家庭で実践している取組みがあれば教えてください。

ごみに関する疑問や質問でも構いません。

お待ちしています。

問 環境美化センター ☎(72)4438